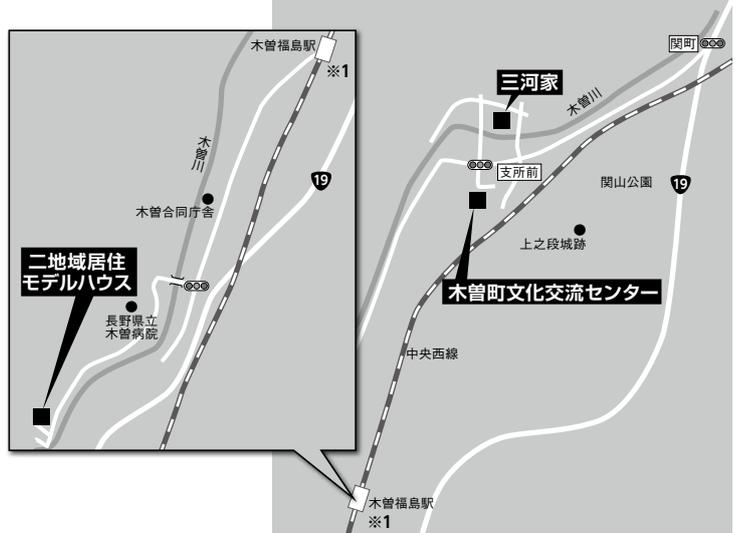




# 建築士フォーラム2019 in 木曾路

期 日：令和元年（2019年）10月19日（土）  
 テーマ：～巡る 中山道 木曾街道～  
 会場：木曾町文化交流センター  
 木曾郡木曾町福島5129番地 TEL/0264-23-2000  
 宿泊：自由旅クラブ 木曾 三河家  
 木曾福島町5782 TEL/0264-24-3332  
 木曾町二地域居住モデルハウス 木曾町福島6904-3  
 主催：公益社団法人長野県建築士会  
 協力：木曾支部・松筑支部  
 申込締切：令和元年9月13日（金）までに申込書に参加費を添えて建築士会各事務所へお申し込みください。  
 その他：懇親会にて飲酒される方は、交通機関利用に十分ご配慮ください。  
 お車で参加される方は、会場周辺に有料駐車場があります。申込後、各支部を通じてご案内します。  
 各コースとも雨天の場合など内容を変更することがありますが、防寒・雨具をご用意ください。



## ■タイムスケジュール

9:30~10:00	受付	木曾町文化交流センター						
10:00~10:30	大会式典	木曾町文化交流センター 2階 多目的ホール						
10:30~11:30	講演会	「長野県と木曾義仲」 講師：漫画家 西川かおり氏（上田市出身。木曾義仲研究者。元中学校社会科教諭）						
11:30~17:00	見学コース	本会担当委員会	建築活動委員会	木曾支部	まちづくり委員会	青年・女性委員会	総務・情報委員会	松筑支部
		Aコース	Bコース	Cコース	Dコース	Eコース	Fコース	
	募集人数	40名	40名	40名	25名	25名	25名	
	コース趣旨	近代化産業遺産「読書発電所と周辺施設」と重伝建「妻籠宿」などを見学。木曾の歴史的建造物を知る。	木曾檜を間近に見ながら木曾五木のことや木曾川を使った納材のことを学び、赤沢美林では、森林浴を楽しむ。	福島宿の特色ある建物をまち歩きしながら見学。建築士の視点で町への提案や考察など、意見交換を行う。	木曾馬や木曾の暮らしの体験と建築文化賞受賞作品や二地域居住モデル住宅を見学する。	講演会講師が同行・解説をいただき、木曾義仲ゆかりの地を巡りその人物像に迫る。	宿場町の奈良井宿、漆工町の木曾平沢の町並みを見学し、木曾の伝統を体感する。	
	移動	バス	バス	まち歩き	バス	バス+まち歩き	バス	
17:20~19:20	懇親会	木曾町文化交流センター 2階 多目的ホール						

## 「建築士フォーラム2019 in 木曾路」参加申込書

建築士会各事務所又は本会事務局へ参加費用を添えてお申し込みください。

建築士会会員	会員( ) 支部) ・ 会員外	申込締切日:令和元年9月13日(金)	
ふりがな氏名	( )歳 男 ・ 女		
連絡先	住所	電話番号(携帯番号)	( )
	勤務先名称	FAX番号	( )

参加項目に○印をご記入ください。(見学コースは第2希望まで記入)

項目	備考	費用	参加申込(第1希望)	第2希望	金額
大会式典		—			—
講演会		—			—
見学コース	A 妻籠宿・須原宿巡りと近代遺産	いずれのコースも交通費・昼食代込みです。	4,500円		円
	B 赤沢美林と木曾檜	*見学コースは、第2希望まで記入してください。	4,500円		円
	C 福島宿・福島関所と崖家造りまち歩き	*そばアレルギーのある方は下に○してください。	3,000円		円
	D 木曾馬と木曾の建築士作品見学	昼食で配慮します。	4,500円		円
	E 木曾義仲散策	→そばアレルギー あり	4,500円		円
	F 奈良井宿と木曾平沢の町並み見学	選択：どちらかに○印【 漆箸絵付け ・ 平沢町並み 】	4,500円		円
懇親会		5,000円			円
宿泊	第2希望まで、記入してください。	自由旅クラブ 木曾 三河家	朝食付き。4人部屋	8,700円	円
	*金額はいずれも1人当たりです。	木曾町二地域居住モデルハウス	10人程度。寝具別途持込。自炊可	3,000円	円
			合計金額		円

\*参加申込みが片寄せした場合、調整させていただくことがあります。  
 \*二地域モデルハウス宿泊は、1棟借上(15,000円)と寝具代を宿泊者で負担。当日精算します。

◆建築士フォーラム2019 in 木曾路へのお誘い◆

～巡る中山道 木曾街道～

木曾支部 支部長 中田充謙

平成17年千曲市稲荷山での「プレ会員大会」、佐久での第1回会員大会では建築士フォーラムと名称も変わり、各支部持ち回りで様々指向を凝らして開催されてきた本大会ですが、元号も変わった令和元年、最後は木曾支部が担当としての開催となります。木曾支部は、全支部中最小の会員数ながら、エリアは広大で、また中山道の歴史、そして社寺仏閣の建築に重用される木曾檜など特色ある自然・歴史・文化の豊富な場所です。そうした地域性から、平成28(2016)年4月25日には『木曾路はすべて山の中 ～山を守り 山に生きる～』というストーリーのもと、“塩尻市・木祖村・木曾町・王滝村・大桑村・上松町・南木曾町」が『木曾路』として文化庁より日本遺産に認定されました。

さて、今年度は「建築士フォーラム2019 in 木曾路 ～巡る中山道 木曾街道～」と題し、松筑支部に特別協力をいただき、日本遺産の登録エリアを舞台に開催いたします。

木曾といえば、源平合戦の主役の1人であり、短命ながらも激動の生涯を送った木曾義仲のゆかりの地でもあります。

講演会では、漫画家ながら木曾義仲研究者であり、木曾町広報紙でも漫画の連載をされご活躍されている西川かおり先生から、木曾義仲が長野県内各地域と深い関わりがあったことについて各地の武士や伝承を織り交ぜながら講演いた

きます。

見学コースでは、ご案内したい場所は多々ありますが、厳選し全6コースを設定しています。中山道木曾十一宿内の重伝建の宿場「妻籠宿」、「奈良井宿」をそれぞれ見学コースといたしました。今回の主会場である木曾町は中山道の福島関所のあった地で、近代では木曾郡の中心地として賑わった場所でした。古い歴史と新しい歴史が織り交ざった場所のまち歩きコースとして楽しんでいただきます。木曾義仲ゆかりの地を巡るコースでは、特別に講師の西川先生にも同行いただきますのでより深く義仲像を知ることができるでしょう。木曾檜の産地見学コースでは、木曾森林管理署の方に同行いただき、日本三大美林のひとつ赤沢美林の見学や天然材(官材)の市売り場も見学いただきます。また、二地域住居者用の木曾モデルハウスや長野県建築文化賞受賞作の見学と五平餅づくり体験や、江戸時代の武士の馬、本州の在来馬である“木曾馬”も見ていただくコースもございます。

木曾には行ったことがない、ゆっくり見たことがないという方はこの機会に是非、また幾度も訪れたことがある方も改めて、建築はもとより自然豊かで歴史的魅力あふれる木曾路を肌で感じ、ゆったりとした素朴な心地よさを楽しんでいただければ幸いです。



湯のぬくもり  
木のぬくもり  
そして  
人のぬくもり

大浴場「ひのき」



日帰り天然温泉

せせらぶの四季

長野県木曾郡木曾町新開3968-2  
TEL 0264-24-2626 (7㍻口)

山づくり、川づくり、道づくり、家づくりで地域に貢献する



木曾土建工業株式会社

代表取締役 水本 豪

〒399-6203 長野県木曾郡木祖村大字小木曾172-2  
TEL (0264) 36-2555 FAX (0264) 36-3655

長野県建築士会 会員様

王滝グループ店舗利用時に会員証提示で

※一部店舗は対象外・又は割引率が異なります。

ご飲食代の  
お会計 **10%割引**

※クレジットカード支払時は5%割引となります。

●ご精算時には必ず会員証をご提示ください。●他のサービスと併用はできません。●要予約の店舗、割引率の違う店舗、実施していない店舗、対象外の商品・企画があります。詳しくはお渡ししてあります「王滝グループパートナーシップ会員特典・利用可能店舗」をご確認いただくかお問い合わせください。

長野県建築士会会員証  
〈建築士会CPD証〉

見本

必ず会員証を  
お持ち下さい

会員証がないと  
特典を受けること  
ができません

一般社団法人 長野県建築士会  
発行所 公益社団法人 日本建築士会連合会

三世代の絆をつなぐ

王滝グループ

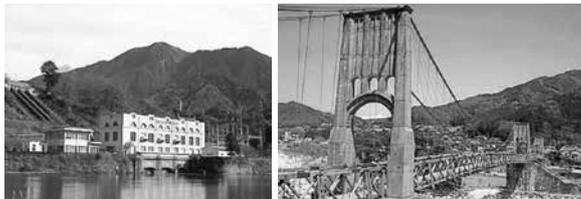
株式会社 王滝 ☎0263-85-0020 王滝グループ 🔍検索

# 見学コースメニュー

コース名	<b>[A] 妻籠宿・須原宿巡りと近代遺産</b>
参加費	4,500円
オプション	杣酒(そまざけ)試飲(無料)
定員	40名
移動手段	バス、一部徒歩散策
<b>☆コース概要</b> 文化交流センター～(昼食)～桃介橋(徒歩)～桃介記念館～山の歴史館～(バス)～読書発電所(外観)～妻籠宿(徒歩散策)～定勝寺～西尾酒造～文化交流センター  妻籠宿の詳細はこちら 	
☆昼食/道の駅大桑 グルメリア きらく(定食・そば付)	

## ★見どころ

**【読書発電所と周辺施設】** 発電所並びに杣其水路橋が「読書発電所施設」の1つとして1994年に重要文化財に指定され、2007年には経済産業省の「近代化産業遺産」に認定された。その建設及び水利権獲得において尽力されたのが「福沢桃介」。木曾川に架かる木製の桃介橋も当時発電所建設のための橋であり、老朽化により1993年に復元された。



**【妻籠宿】** 全国で初めて古い宿場町の町並みを保存し、国の重要伝統的建造物保護地区に選定された(昭和51年)。「脇本陣奥谷・歴史資料館」「妻籠宿本陣」などを案内する「妻籠宿案内人の会」のガイドもわかりやすい。

## 【須原宿、定勝寺】

臨済宗妙心寺派、木曾三大寺の中でも最古刹。うぐいす張りの廊下、庭園が木曾の小京都を想わせる佇いです。



コース名	<b>[B] 赤沢美林と木曾檜</b>
参加費	4,500円
オプション	—
定員	40名
移動手段	バス
<b>☆コース概要</b> 文化交流センター～貯木場～(昼食)～管材市場～赤沢美林～(森林鉄道乗車、散策)～臨川寺～文化交流センター  ※木曾森林管理署員が全行程同行し、解説してくれます。	
☆昼食/上松町 坂下屋(ランチ)	

## ★見どころ

**【管材市協同組合】** 木曾の山々から切り出された原木や製材された建築用材が集まり、展示即売会も行われる場所。



**【赤沢自然休養林】** 日本三大美林の一つ。樹齢300年以上の天然木曾檜が林立している。江戸時代は尾張藩の保護政策、明治時代には御料林と伊勢神宮の造営用備林に、さらに、戦後国有林に指定された。1987年には木曾森林鉄道の保存運行が始まった。ポールドウィン型SL機関車に引かれたトロッコ列車に乗って雄大な美林を楽しめる。



**【臨川寺】** 木曾八景の一つである「寝覚ノ床」を眼下に望める場所にある。本堂のほか、寝覚之床展望



台、木曾七福神・弁財天、宝物館、三徳稲荷堂があり、制作中の竜の彫刻が見学できる。

コース名	<b>[C] 福島宿・福島関所と産家造りまち歩き</b>
参加費	3,000円
オプション	七笑酒造で試飲(無料)
定員	40名
移動手段	(全行程) 徒歩(3.3km)
<b>☆コース概要</b> 文化交流センター～(昼食)～上之段～福島関所～御料館～興禅寺～崖家見学～七笑酒造～文化交流センター(町職員と意見交換・提案)	
☆昼食/木曾町上之段 肥田亭(ランチ)	

## ★見どころ

**【上之段】** 旧中山道の家並みが残る一角。古民家や土蔵を改修・保存・活用しており、木曾の伝統文化が感じられる。江戸情緒の袖卯建や干本格子、なまこ壁の土蔵や水場があり、懐かしい雰囲気を漂わせて旅人を迎えます。



**【福島関所】** 江戸幕府が江戸防衛のため、東海道の箱根関所や荒居関所、中山道の碓井関所などとともに設けた日本四大関所の一つ。木曾川の断崖に望む、険しく、狭い場所に設けられたので旅人も大名行列もここを通らざるを得なかったといわれ、ここに関所があった理由も肯ける。



**【御料館】** 木曾谷最古の洋風建築で、木曾町指定有形文化財。文化財指定名称は旧帝室林野局木曾支局庁舎。白い壁にモスグリーンの屋根がとてもクラシカルな雰囲気。

**【興禅寺】** 興禅寺は「看雲庭」と呼ばれる大きな枯山水の庭が有名。その広さは東洋一を誇り、雲海的美をテーマにした見事な景観を見ることが出来る。また、「万松庭」と呼ばれる小さな池泉鑑賞式の庭などがあり、対照的な日本の趣を楽しむことができる。宝物殿では山村氏が所有した調度品、墨跡等秘蔵の宝物を公開している。



コース名	<b>[D] 木曾馬と木曾の建築士作品見学</b>
参加費	4,000円
オプション	木曾馬引き馬体験500円 中善酒造で試飲(無料)
定員	25名
移動手段	バス
<b>☆コース概要</b> 文化交流センター～(昼食)～木曾馬の里～ふるさと体験館～kura3夢倉座～二地域居住モデルハウス～中善酒造～(徒歩、崖家見学)～文化交流センター ※引き馬は木曾馬の里で体験できます。	
<b>☆昼食</b> ／木曾町 せせらぎの四季(ランチ)	

**★見どころ**／

**【開田高原木曾馬の里】** 現在約30頭の木曾馬を保護・育成中。調教されているので乗馬や馬車など体験できる。また、春の繁殖期には繁殖雌馬を預かり、種付けを行う繁殖預託事業も行っている。多い年には40以上もの木曾馬たちで賑う。

**【ふるさと体験館きそふくしま】** 廃校となった木造校舎を、地域に根差した体験や交流の場として活用している施設。都会の生活では得られない、人が生きるための知恵や感覚が詰まっており、木曾の山里に受け継がれてきた自然や人の暮らしを実感できる。

**【夢倉座】** 俳優田中要次さんの生まれ育った家の敷地にある蔵をテレビ番組「劇的ピフォーアフター」でリノベーションした建物です。



コース名	<b>[E] 木曾義仲散策</b>
参加費	4,500円
オプション	—
定員	25名
移動手段	バス、一部徒歩散策(3.7km)
<b>☆コース概要</b> 文化交流センター～(昼食)～道の駅木曾駒高原～義仲館～徳音寺～(以後、本陣まで徒歩散策)～巴淵～雨宮神宮～旗揚げ八幡宮～宮ノ越宿本陣～文化交流センター ※講演会講師が同行し、講演の補足解説があります。	
<b>☆昼食</b> ／木曾町日義 駒王(ランチ)	

**★見どころ**／

**【義仲館】** この地で育ち、平家追討に旗挙げし、征夷大將軍となった木曾義仲の資料館。31歳という短くとも壮絶な生涯を絵画や人形を使いわかりやすく解説している。中庭には義仲と生涯のパートナーである巴御前の像が設置されている。

**【徳音寺】** 1168年、木曾義仲が母小枝御前を葬った所で、一族の菩提寺。境内には義仲・巴御前らの墓がある。四季を通じて様々な趣ある様子を楽しむことができ、「徳音寺の晩鐘」は木曾八景の一つ。

**【巴淵】** 木曾川が山吹山のふもとを迂回して形づく深い淵は、義仲と共に幼少を過ごし、生涯を共にした愛妾・巴の名にちなんでいる。神秘的な渦が巻いている淵で、この淵に棲む竜神が巴に化身して義仲を守り続けたという伝説などが有名。



コース名	<b>[F] 奈良井宿と木曾平沢の町並み見学</b>
参加費	4,500円
オプション	—
定員	25名
移動手段	バス、一部徒歩
<b>☆コース概要</b> 文化交流センター～(昼食)～笑ん館～奈良井宿(徒歩散策)～木曾大橋～木曾漆器館又は平沢町並み見学～木曾くらしの工芸館～文化交流センター ※木曾漆器館での漆箆絵付け体験と平沢町並み見学は選択です。 奈良井宿の詳細はこちらから	
<b>☆昼食</b> ／木曾町日義 旗竿そば源氏(そば)	

**★見どころ**／

**【笑ん館】** 中山道数原にある木祖村民の活動発表・交流の場(多目的交流施設)。街道景観に合わせてデザインされ、伝統的な小屋組みを整理し、大梁・小梁・小屋束・母屋の構成を現代的に表現。ひのき、からまつ、さわらなど長野県産木材を適材適所に使用している。今回、設計者が景観配慮について直接説明してくれる。

**【国重伝建奈良井宿】** 江戸と京のほぼ中間で、中山道きつての難所とされる鳥居峠の北に位置する宿場町。その賑わいは「奈良井千軒」といわれ、今に残る1kmに及ぶ出梁造の町家が連坦する様子は必見。

**【国重伝建木曾平沢】** 奈良井宿から4kmほどに位置する木曾平沢は、国の重伝建に選定された町並みのうち唯一の漆工町。他の漆器産地と違い、漆器関係者が一つの集落に集住。表通りから奥まった敷地内部には塗蔵と呼ばれる漆器製作の工房があり、そのいくつかでは現在でも木曾漆器が生産されている。

(平沢町並み見学に代えて、木曾漆器館において、朱か黒色の本堅地塗分け呂色等に漆で絵や模様を書く「マイ箆」作成体験を選択できます。)

